

第5回

日本心血管カテーテル治療学会学術集会

2005年8月25日(木)・26日(金)・27日(土)

会 場

長良川国際会議場 (ルネッサンス岐阜ホテル)

〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2

国際会議場代表 TEL : 058-296-1200 FAX : 058-296-1210

会期中学会本部 TEL : 058-296-1337 FAX : 058-296-1339

会 長

曾根 孝仁 (大垣市民病院循環器科)

第5回学術集会事務局

大垣市民病院循環器科

〒503-8502 岐阜県大垣市南瀬町4-86

事務局担当 : 坪井 英之 (医師) 奥村 恭己 (コメディカル)

TEL : 0584-81-3341 FAX : 0584-75-5715

E-mail : jacct5-office@umin.ac.jp

URL : <http://jacct5.umin.jp/>

問い合わせ先

第5回日本心血管カテーテル治療学会学術集会 事務取扱

〒602-0855 京都市上京区河原町通荒神口下ル西側 安田ビル2階

UENO CONGRESS SERVICE 内

TEL : 075-213-7057 FAX : 075-213-7058

E-mail : jacct5-office@umin.ac.jp

第5回日本心血管カテーテル治療学会学術集会開催にあたって

演題募集も無事終了いたしました。この間JACCT事務局はもとより関係各位には多大なご尽力を賜り、まことに有難うございました。おかげをもちまして今回は2日間のPCIライブデモンストレーションに加えメディカル288題、コメディカル88題の発表が予定されています。皆様の熱意を無駄にすることなく、本会がより意義深いものとなるようプログラムを作成いたしました。不慣れなうえ、地方での開催ということで不行き届きな面も多いかと存じますが、ご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。以下に今回のプログラムの概要と、その見所の一部を紹介させていただきます。



会長 曾根 孝仁

今回のメインテーマは、本邦におけるDES初年度の経験を共有しあう意味からも『Real WorldのDES』といたしました。抗血小板薬の問題は積み残されたままですが、それをあざ笑うがごとく、この一年でDESは急速に浸透いたしました。J-Cypher registryを始め様々な観点からの報告が各セッションで予定されています。この点については本会でじっくり聴講いただき、その動向を肌で感じ取っていただきたいと思います。DES植込みに際しての各種テクニック、IVUSやDebulkingの有用性、DES再狭窄のメカニズムについては国内外の経験豊富な講師によるUpdateな講演を企画いたしました。PCIライブデモともどもお楽しみ下さい。

DESが如何に進歩しようと、冠動脈バイパス術が不要になるとは考えられません。しかしながら適応病態はもとより、その教育体系をも含めた変化が起きつつあることは事実です。学会最終日の午後に予定されているパネルディスカッションでは、上田教授（名大胸部外科）のお世話のもと、当世を代表する冠動脈外科医にご参集いただきます。内科側コメンテーターをまじえ、今後の虚血性心臓病治療につき忌憚のない意見が繰り広げられることを期待しています。学会参加者がそろそろ家路につく頃かと心配しておりますが、多忙な心臓外科医に呼びかけるにはこの時間帯である必要があったことをご理解ください。また多少時間的にバッティングしますが別の会場でもバイパスvs PCIをテーマとした症例検討会を予定しています。今が旬の一线の臨床医からすばらしく教育的な症例が用意されました。せっかくの機会を逃すことなく最終プログラムまでお付き合いいただき、本学会を堪能していただければ幸いです。

さて今回より新たに取り入れた試みを紹介いたします。まず学会初日の冒頭に昨年のJACCT4にて行われたライブデモ症例の経過報告を企画いたしました。その場限りの結果で終わっていた従来方式では長期的視野にたったPCI戦略の妥当性が判断できない不満がありました。また術後に発生しうる種々な合併症に対する配慮も、実際の臨床では大切なことです。そういった観点から本セッションを前会長の多々見先生にお願いしました。第2点としてCall for Cases Sessionを新設いたしました。どんなに貴重な発見や工夫があっても症例報告というと注目されることも少なく、そのまま埋もれてしまう傾向にあります。そこで今回はEuro-PCRにならい、臨床経験豊富な複数の審査員のもとで口演いただき、厳正な審査のうえ顕彰することにいたしました。審査委員長は2004年度のEuro-PCRで最優秀賞を受賞された井上直人先生（京都第二日赤）にお願いしました。第3点としてプログラムのバッティングに伴う聞き逃しの解決策として一部の教育講座、講演についてはDVDに記録し希望者に配布できるよう準備をすすめています。また前日のものについてはその一部を専用の部屋にてビデオ放映い

たします。口述の一般演題については、ポスター討論は設けません。スライド原稿をポスター化して会期中展示いただくスペースを設けました。メディカル・コメディカルとも演者の皆様にはご協力よろしくお願いいたします。

次に強調すべき点として、今回は末梢インターベンションをクローズアップしました。DESにより再狭窄を克服したCardiologistの次なる標的は末梢となるかもしれません。末梢インターベンションに最も適した術者は複雑なPCIのノウハウに精通したCardiologistであることは世界的にも認知されています。今回は心腎連関として注目されつつある腎動脈狭窄のシンポジウムを組みました。本当のところはまだ何も解っていない領域に本気で足を踏み入れてみようではありませんか。なおこのセッションの開催はひとえに岸和田、小倉の両横井先生のご尽力によるものであることを申し添えておきます。

JACCT事務局のご尽力により昨年に引き続きタウンホールミーティングが開催されます。ここではNew Deviceの認可に伴う諸問題が行政、企業、医師それぞれの立場から論じられます。今回はDESの治験でご活躍中のDr. Krucoffの参加も確定しており、この方面に興味のある方々にとっては必見の価値があります。

急性冠症候群に対する取り組みもまた着実に進んでいるようです。シンポジウム“より良質な冠再灌流を模索する”以外にも興味深い演題が多く見うけられました。また現在のトピックスである不安定粥腫の診断と治療についてはパネルディスカッション以外にもランチョンセミナーにて積極的に取り上げました。不安定粥腫を適確に診断し、心筋梗塞の発生を未然に予防する。夢物語ではなくなりつつあります。一方、熱気がやや冷めた感のある再生医学ですが、着実に進化しつつあるであろうこの分野の現状につき室原教授（名大循環器内科）に解説をお願いしました。この方面の飛躍的な発展を期待しつつ、知識をUpdateしようではありませんか。

PCI治療に合併症はつきものです。デバイスの開発とともに新たに出現する新しいタイプの合併症とそのbail-out。この問題については初日に予定されている延吉名誉理事長の特別講演をご注目下さい。また昨今の医療を取り巻く環境には厳しいものがあり、敢えて“裁判例から見た心血管カテーテル事故”についての講演を医療事故専門の弁護士に依頼しました。身につまされるかも知れない話を、気を引き締めて聴講しようではありませんか。

おまけとして、タイムリーにもCRTのOTWリードが認可され本邦でも近々使用可能となりました。学会開催時期にあたり、Dr. Worleyの講演は本邦初の本格的なOTWリード植込み法の教育講座となる模様です。

チーム医療が大切な心血管カテーテル治療分野においては、コメディカルセッションの充実は学会の使命でもあります。今回も学会発表に加え、Updateな教育講座、講演を企画し、参加いただく方々に十分満足いただけるよう配慮いたしました。高学歴化のなか、この分野が今後ますます発展することは先行する欧米事情を見ても明らかです。しっかりとした体制作りの礎となりうるような、積極的な参加と活動を期待しております。

学会開催時期の岐阜市は蒸し暑く、また今年は万博や世界ボート選手権等多くの催し物で混雑が予想されます。しかしながら、夜ともなると金華山の頂にライトアップされた岐阜城、長良川の清流に浮かぶ鶺鴒舟そして柳ヶ瀬と、学会の疲れを十分に癒してくれる街でもあります。また北に足を延ばせば世界遺産の白川郷、日本三大名泉の下呂、天領地の飛騨高山があり、名所旧跡にもことかきません。多数の会員の皆様のご来訪をお待ちしております。

Call for Cases 2005 審査委員

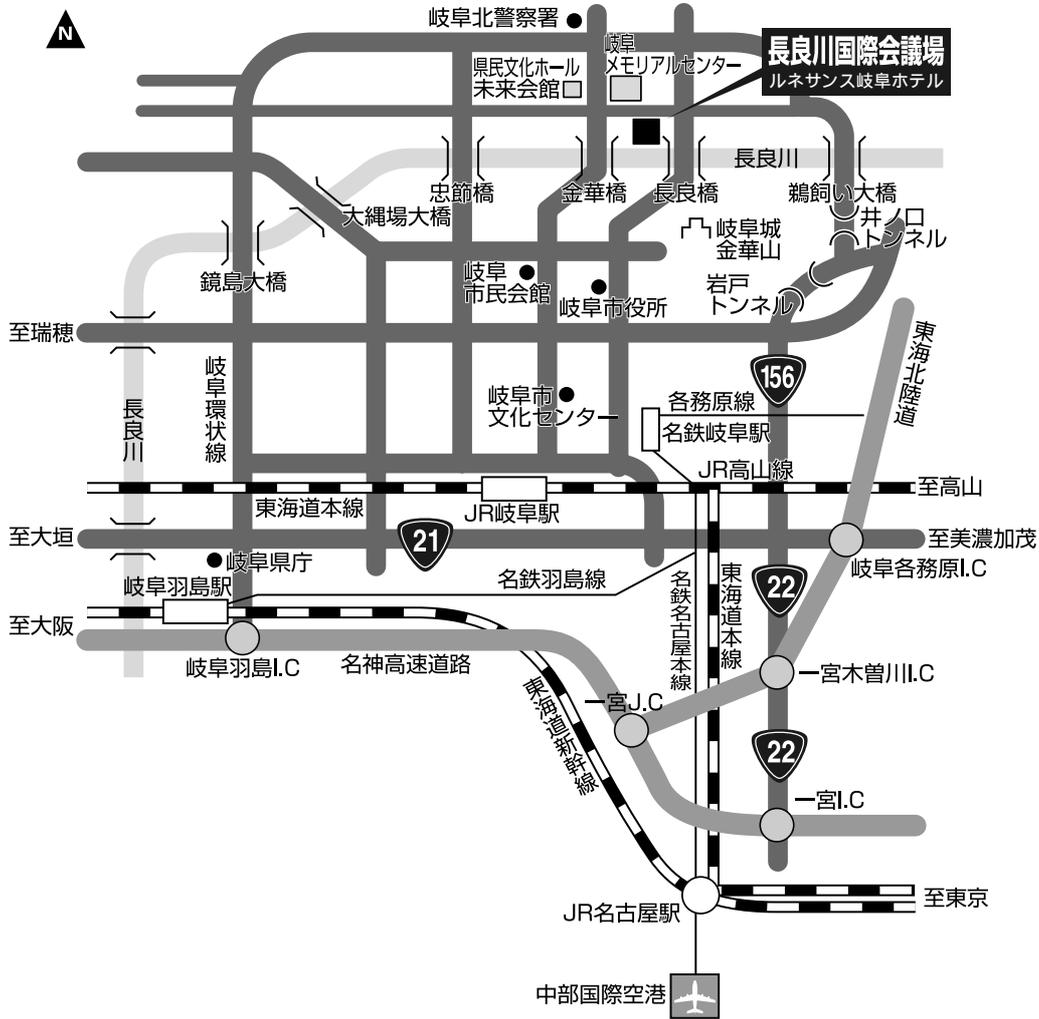
委員長	井上 直人	京都第二赤十字病院 循環器科
委員	栗野孝次郎	三木市立三木市民病院 循環器科
	伊藤 彰	大阪市立総合医療センター 循環器内科
	上野 高史	社団法人福岡市医師会成人病センター 循環器科
	勝木 孝明	自治医科大学附属病院 循環器センター内科
	木村 一雄	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 心臓血管センター
	柴田 剛徳	社団法人宮崎市郡医師会病院 循環器科
	多々見良三	国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院 循環器科
	野坂 秀行	社会保険小倉記念病院 循環器科
	林 康彦	特定医療法人 あかね会 土谷総合病院 循環器内科
	細川 博昭	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター 臨床研究
	松尾 仁司	岐阜県立岐阜病院 循環器科
	道下 一朗	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院 循環器内科
	宮崎 俊一	国立循環器病センター 心臓内科
	横井 良明	岸和田徳洲会病院 循環器科

(50音順)

- 審査基準
- 1 . Quality of presentation
 - 2 . Originality
 - 3 . Educational quality
 - 4 . Impact for daily practice

審査委員が上記の4項目を5段階評価(1項目につき5点の20点満点)で採点し、選考委員会にて上位3名を選考いたします。選考結果は、27日の総会で表彰式を兼ねて行い、表彰状および副賞を授与します。

交通のご案内



アクセス

鉄道でのアクセス

東京から約2時間 大阪から約1時間20分

東京 のぞみ 1時間40分 \ 名古屋 JR新快速18分又は名鉄特急24分 \ 岐阜
合計約2時間

新大阪 のぞみ 52分 \ 名古屋 JR新快速18分又は名鉄特急24分 \ 岐阜
合計約1時間20分

新大阪 ひかり・こだま 1時間 \ 岐阜羽島 名鉄急行25分 \ 名鉄岐阜
合計約1時間30分

中部国際空港 名鉄特急55分 \ 名鉄岐阜

高速バスでのアクセス

東京(新宿) 岐阜バス(夜行) \ 6時間30分 名鉄岐阜

東京(東京駅) JR東海バス(夜行) \ 8時間 JR岐阜

大阪なんば 岐阜バス \ 165分 名鉄岐阜

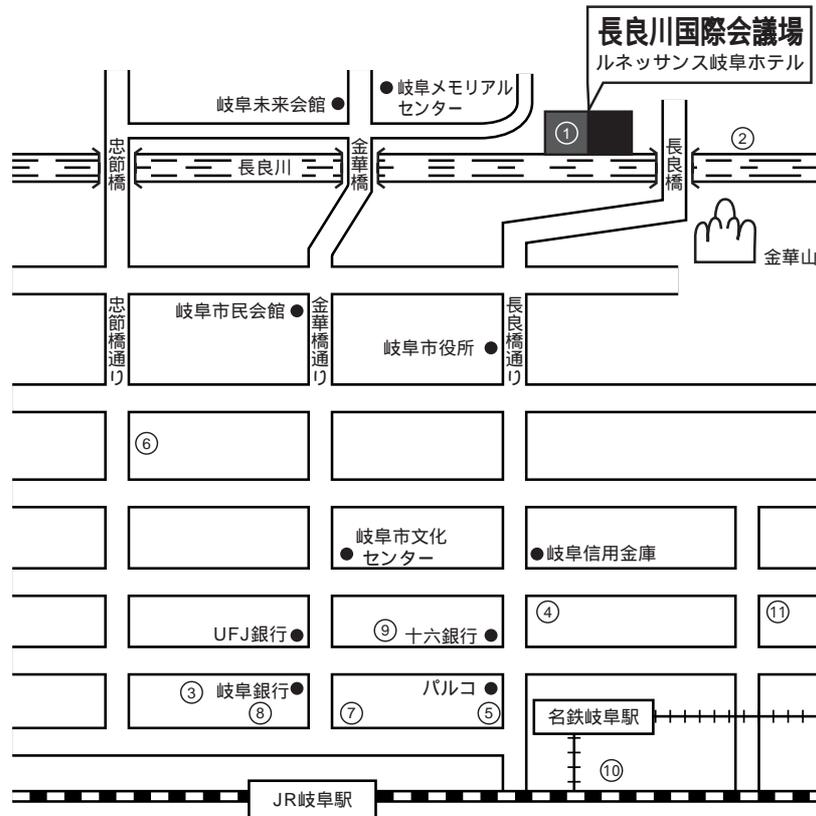
京都駅 岐阜バス \ 130分 名鉄岐阜

車でのアクセス

名神高速岐阜羽島ICから 岐阜環状線経由で 約40分

東海北陸自動車道岐阜各務原ICから 国道21号を西進し、岐阜市街経由で 約30分

会場周辺図



- | | | |
|-----------------|--------------|----------------|
| ① 岐阜ルネッサンスホテル | ② 岐阜グランドホテル | ③ ホテル330グランデ岐阜 |
| ④ 岐阜ワシントンホテルプラザ | ⑤ ホテルサンルート岐阜 | ⑥ グランヴェール岐山 |
| ⑦ 岐阜グランパレホテル | ⑧ コンフォートホテル | ⑨ ニュー岐阜ホテルプラザ |
| ⑩ ビジネスホテル丸由 | ⑪ ビジネスホテル華陽館 | |

JR 岐阜駅・名鉄新岐阜駅からアクセス

シャトルバス

25日(木)午後、26日(金)、27日(土)にシャトルバスを運行いたします。
詳細はホームページをご覧ください。

岐阜バス

「三田洞線 ⑬・⑬③」長良川国際会議場前下車
「忠節長良線」長良川国際会議場北口下車(徒歩2分)

名鉄バス

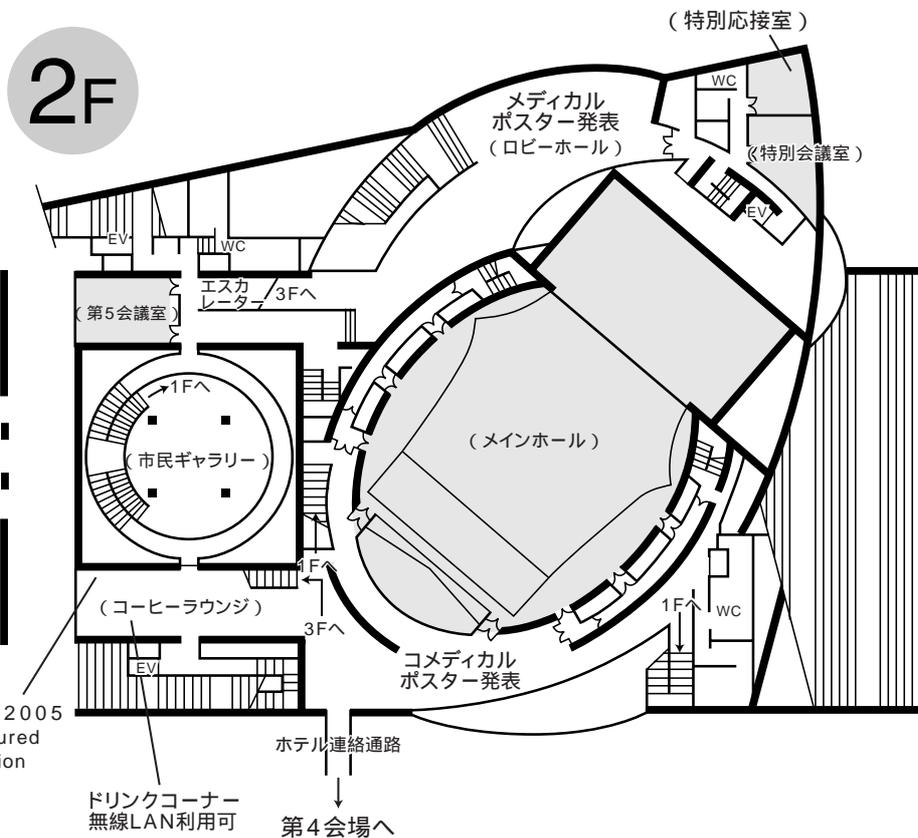
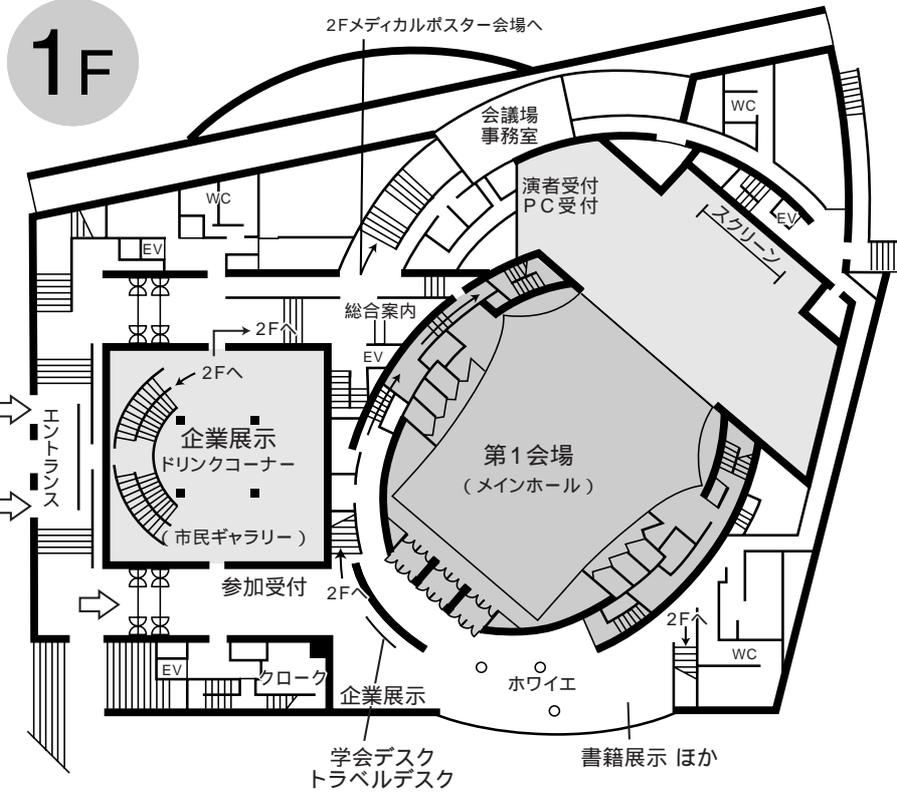
「高富行」鵜飼屋下車(徒歩10分)

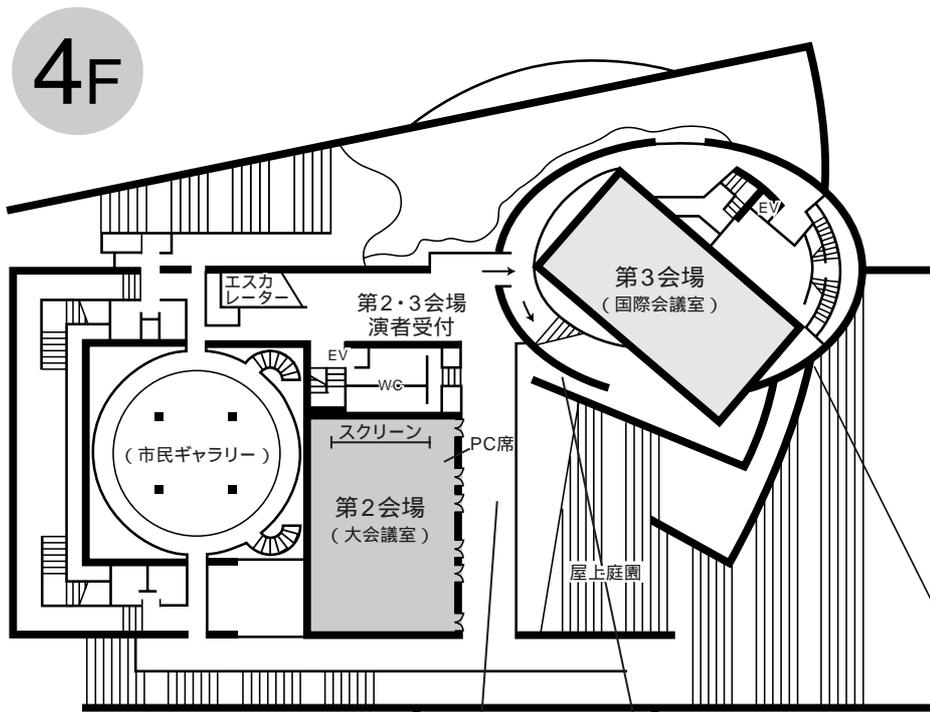
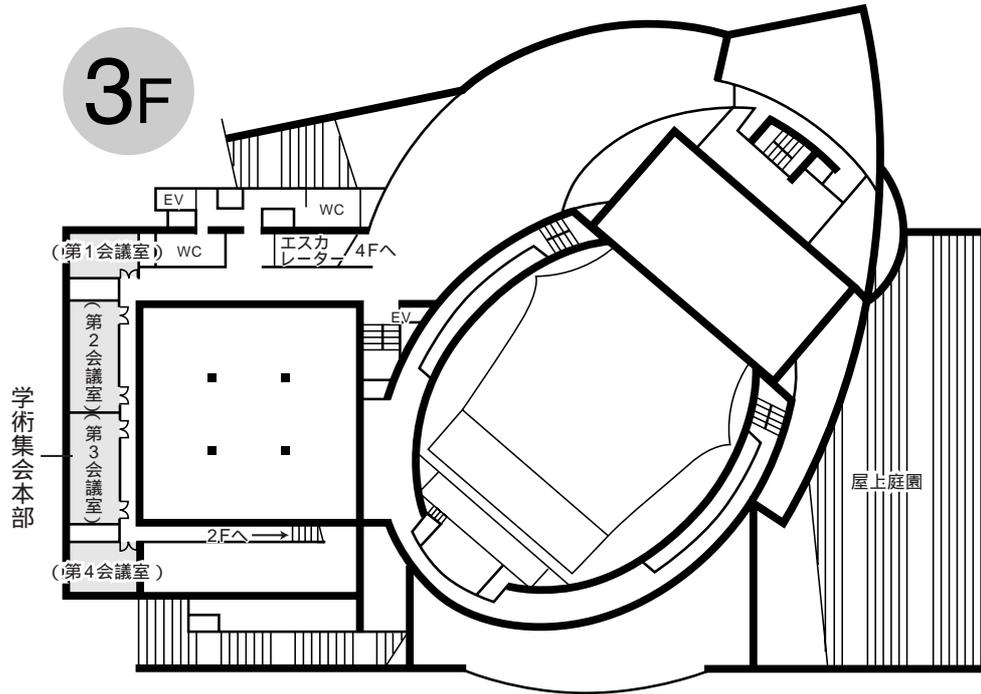
* バス利用の場合はいずれも所要時間約20分

* タクシー利用の場合は所要時間約10～15分

会場案内図

長良川国際会議場



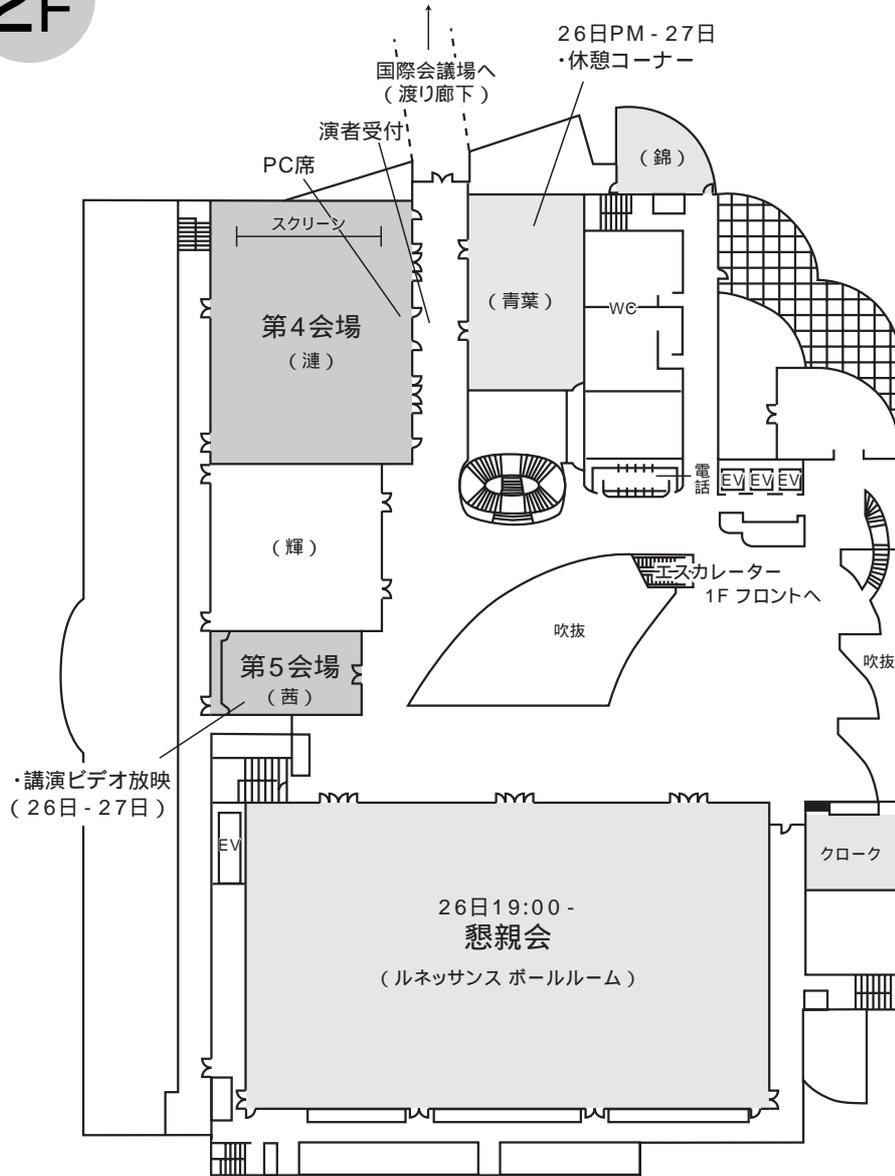


Featured Research Session
ポスター展示



ルネッサンス岐阜ホテル

2F



・講演ビデオ放映
(26日 - 27日)

- 控室 3F 桃の間
- 桜の間
- 11F ルビーの間
- ダイヤモンドの間

参加者へのご案内

1. 開場時間 受付開始時間を開場時間といたします。これ以前の入場はできません。
2. 参加者の受付

受付場所	長良川国際会議場 1Fロビー
受付時間	8月25日(木) 12:00～18:00
	8月26日(金) 8:00～18:00
	8月27日(土) 8:00～16:00
参加費 医師	15,000円
コメディカル	3,000円
企業・その他	15,000円
学生*	3,000円

(*学生証または所属長の証明が必要です)
3. 参加カード 参加費と引換えに参加カード(名札)をお渡ししますので、所属・氏名を記入のうえ、入場の際は必ずご着用ください。参加カードを着けていない方のご入場はお断りいたします。参加カードは領収書を兼ねておりますので再発行はできません。
4. 学会抄録集 8月中旬に全会員に発送されますので、各自ご持参ください。会場で購入される場合は実費1,000円をいただきます。
5. 呼び出し 総合案内の伝言板を設けますのでご利用ください。放送による呼び出しや会場内での呼び出しはできません。緊急の場合は学術集会本部(第3会議室)までお申し出ください。外部からの呼び出しは、本部の直通電話までご連絡ください。
会期中本部直通 TEL: 058-296-1337 FAX: 058-296-1339
6. 飲食 ホテルのレストランおよび周辺レストランをご利用ください。25日の特別講演1では軽食、ランチョンセミナーではお弁当を用意いたしますが、数量に限りがあります。
7. シャトルバス 25日(木)午後、26日(金)、27日(土)にJR岐阜駅から会場までシャトルバスを運行いたします。詳細は学術集会ホームページをご覧ください。
8. 駐車場 学会専用の駐車場はありません。長良川国際会議場の地下駐車場(30分100円)がございますが、駐車台数に限りがありますので、なるべくシャトルバスや公共交通機関をご利用ください。
9. 機器展示 26日(金)、27日(土)に1F市民ギャラリー・ロビーにて開催しております。
10. ドリンクサービス 26日(金)、27日(土) 機器展示会場
25日(木)午後、26日(金)、27日(土) 長良川国際会議場2F コーヒーラウンジほか

11. 学会事務局より 新入会受付

発表者は日本心血管カテーテル治療学会会員であることが義務づけられています。非会員の方はあらかじめ学会事務局（小倉記念病院心臓病センター内）にて入会手続きを行うか、学術集会当日に総合受付の学会デスクにて入会手続きを行ってください。

学会事務局 TEL：093-941-5342 FAX：093-922-5624
E-mail：info@jacct.com

年会費

26日、27日、学会デスクにて2005年度会費の受付を行っています。

所属・住所の変更

所属・住所（自宅を含む）に変更のある方は、学会デスクにて所定の手続きを行ってください。

12. 認定医更新の点数

本学術集会出席で10点、本学術集会発表で5点を取得できます。
(申請には名札のコピーが必要ですので、名札を大切に保管してください)

13. 宿泊

お問合せ先

JTBコンベンションサポートセンター（JTBイベント&コンベンションサービス内）
「第5回日本心血管カテーテル治療学会学術集会」係

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-26 交通ビル6F

TEL：052-541-2521 FAX：052-541-2520

E-mail：jacct-5hotel@jecs.org

JTB岐阜支店 担当：甲田

TEL:058-264-7911（月～金9:30～18:00） FAX:058-262-3641（24時間）

14. 懇親会

8月26日（金）19:00～21:00 ルネッサンス岐阜ホテル（長良川国際会議場隣接）
ボールルームにて、懇親会を開催いたします。参加登録者は参加いただけますので、奮ってご参加ください（無料）。

各種委員会・関連行事

内容	日時	場所
日本心血管カテーテル治療学会 JACCT認定医制度委員会	8月25日(木) 15:40-16:40	長良川国際会議場 第5会議室
日本心血管カテーテル治療学会 第11回JACCT指導医講習会	8月25日(木) 16:45-17:30	長良川国際会議場 メインホール（第1会場）
日本心血管カテーテル治療学会 編集委員会	8月25日(木) 18:45-19:15	ルネッサンス岐阜ホテル11F ルビーの間
日本心血管カテーテル治療学会 理事会	8月25日(木) 19:15-20:15	ルネッサンス岐阜ホテル 11F ダイヤモンドの間
日本心血管カテーテル治療学会 評議員会	8月26日(金) 8:00-8:30	ルネッサンス岐阜ホテル 2F 第4会場（漣：さざなみ）
日本心血管カテーテル治療学会 総会	8月27日(土) 12:00-12:30	長良川国際会議場 1F 第1会場（メインホール）

発表・討論要項

口述発表

1. 発表者の方へ

発表時間

Featured Research Session	口演7分（6分：予告ランプ、7分：終了赤ランプ） 討論2分
Call for Cases 2005	口演7分（6分：予告ランプ、7分：終了赤ランプ） 討論2分
コメディカルFeatured Research Session（1） （26日AM）	口演10分（9分：予告ランプ、10分：終了赤ランプ） 討論時間は座長に一任いたします
コメディカルFeatured Research Session（2） （26日PM）	口演8分（7分：予告ランプ、8分：終了赤ランプ） 討論時間は座長に一任いたします
その他	各々指定された時間

ポスター展示

口述発表（Featured Research Session、Call for Cases 2005、コメディカルFeatured Research Session）の演者の先生方はポスター展示（スライド原稿のプリントアウトでも可）も行ってください。プログラムが並行して行われるため、口述発表を聴講できなかった参加者のための展示で、ポスター討論はありません。次ページのポスター展示要領に従って準備および貼付をお願いいたします。

演者受付（各会場前）

25日（木）12:00～最終セッション1時間前

26日（金）8:00～最終セッション1時間前

27日（土）8:00～最終セッション1時間前

使用機材

コンピュータープレゼンテーションに限ります。

Windows；データ受付およびPC持込可 Mac；PC持込のみ

〔準備 データ受付の場合 Windowsのみ〕

- 1) メディア：USBフラッシュメモリ、CD-R、スマートメディア、CF、SDカード
- 2) アプリケーション：Microsoft Power Point 2000・2002・2003・XP
- 3) フォント：Windows標準フォントのみ
- 4) 動画ファイル：Windows Media Playerで再生出来るものを同一フォルダーにコピー願います。

〔発表方法 データ受付の場合 Windowsのみ〕

- 1) 発表予定時刻の60分前まで（および演者受付開始時刻後）に演者受付にて試写のうえ、30分前までに会場内にご移動ください。
- 2) データは会場の技術者が準備確認後、登壇時に投影いたします。
- 3) 発表は、演台のモニターで確認しながら備え付けのマウスで進めてください。
- 4) 液晶プロジェクターの解像度はSVGA（800×600）、XGA（1024×768）、SXGA（1280×1024）に対応しています。
- 5) データは講演終了後、学会の方で責任を持って消去いたします。

〔準備 PC持込の場合〕

- 1) ご自身のノートパソコンおよびコンセント用電源アダプタをご持参ください。

- 2) モニター出力端子にMini D-sub15ピン3列コネクター（通常のモニター端子）が装備されているものに限ります。薄型PCでは出力の規格が異なる場合がありますので、その場合は接続用の端子をご持参ください。
- 3) 持ち込み可能な機種はWindows2000以降が動作する機種、またはApple Power Macintoshです。
- 4) 発表データはMicrosoft Power Pointで作製してください。学会側でバックアップ用に準備するPCは、Windows版のみになるため、万が一の場合に備えKey Noteでの発表はご遠慮ください。
- 5) PCが外部ディスプレイに出力可能であるか、特に動画が多用された大容量データの場合、必ず事前に確認してください。
- 6) 学会側が準備したプロジェクターとの接続ができない場合に備え、バックアップデータを前述の〔準備 データ受付の場合 Windowsのみ〕に準じて作成し、ご持参ください。

〔発表方法〕

- 1) 発表予定時刻の60分前まで（および演者受付開始時刻後）に演者受付にて試写のうえ、30分前までにご自身でPCを当該会場内のPC席までお持ちください。
- 2) 発表中にスクリーンセーバーや省電力機能で電源が切れないよう設定してください。
- 3) 発表は、演台のモニターで確認しながら備え付けのマウスで進めてください。プロジェクターへの接続は会場内のPC席にて技術者が行います。
- 4) 液晶プロジェクターの解像度はSVGA（800×600）、XGA（1024×768）、SXGA（1280×1024）に対応しています。
- 5) 講演終了後は速やかにPC席からご自身のPCをお受け取りください。

次演者席 前の演者の登壇後、ただちに次演者席にお着き下さい。

2. 座長・コメンテーターの方へ

次座長・コメンテーター席

担当セッション開始10分前までに次座長・コメンテーター席にお着きください。座長・コメンテーター受付はありません。

進行

進行は座長に一任いたしますが、時間厳守をお願いします。

推薦研究論文

所定の用紙に、学会誌への推薦研究名をご記入し、当日、進行係にご返却ください。

当日、座長ができなくなった場合はご担当のセッションの開始30分前までに本部まで必ず連絡のうえ、責任を持って代替りの座長をご推薦ください。

3. 質疑応答

討論者はあらかじめ会場内の討論用マイクの近くで待ち、座長の指示に従って所属と氏名を述べたのち、簡潔にご発言ください。

学会誌への投稿

発表演題の学会誌への投稿を歓迎いたします。なお、特に座長より推薦があった演題に関しては、学会終了後投稿の依頼をさせていただきます。

ポスター発表

1. 発表者の方へ

会場

メディカルポスター発表	長良川国際会議場	2F ロビーホール
Featured Research Session	長良川国際会議場	4F 大会議室前ロビー
Call for Cases 2005	長良川国際会議場	2F コーヒーラウンジ
コメディカルポスター発表	長良川国際会議場	2F ホワイエ
コメディカルFeatured Research Session	ルネッサンス岐阜ホテル	2F コーヒーラウンジ

貼付・撤去日時

貼付	8月25日(木)	13:00 ~ 19:00
	8月26日(金)	8:00 ~ 9:00
撤去	8月27日(土)	15:55 ~ 17:00

発表討論時間

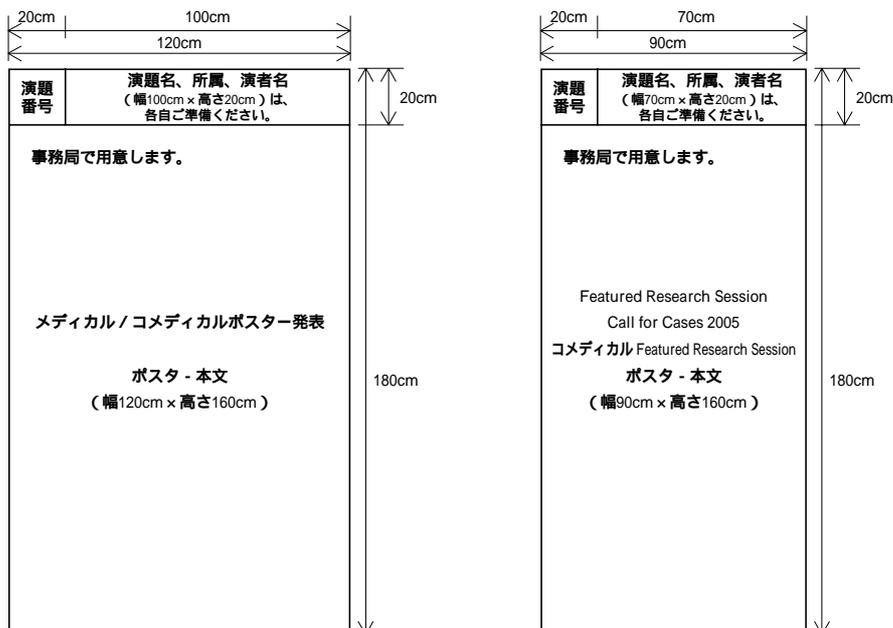
8月26日(金)	14:40 ~ 15:40
8月27日(土)	15:10 ~ 15:55

討論

- 1) 発表時間 口演6分 / 討論2分
- 2) 発表開始時刻10分前までにご自身のポスターの前で待機してください。
- 3) 進行は座長の指示に従い、時間厳守をお願いします。

Featured Research Session、Call for Cases 2005、コメディカルFeatured Research Sessionの発表討論はありません。

ポスターサイズ



貼付・撤去について

- 1) 会場内に画紙やテープを用意しますので、各自貼付してください。
- 2) ポスターは2日間とも貼っていただきます(張り替えはありません)ので、27日の発表の方も指定された時間に貼り付けください。指定の貼付時間に来場できない場合は、代理の方に貼付していただいで下さい。
- 3) ポスターの撤去は指定の撤去時間内をお願いいたします。指定時刻を過ぎても掲示してあるポスターは、学術集会本部で廃棄処分させていただきます。

2. 座長・コメンテーターの方へ

座長・コメンテーターの受付

担当セッション開始10分前までに会場前の『座長・コメンテーター受付』にお越し下さい。

進行

進行は座長に一任しますが、時間厳守をお願いいたします。

推薦研究論文

所定の用紙に、学会誌への推薦研究名をご記入し、当日、進行係にご返却ください。

当日、座長ができなくなった場合はご担当のセッションの開始30分前までに本部まで必ず連絡のうえ、責任を持って代替りの座長をご推薦ください。

3. 質疑応答

座長の指示に従って、所属と氏名を明瞭に述べたのち、簡潔にご発言下さい。

学会誌への投稿

発表演題の学会誌への投稿を歓迎いたします。なお、特に座長より推薦があった演題に関しては、学会終了後投稿の依頼をさせていただきます。

一般演題ポスター発表

8月26日(金) 14:40~15:40 / 第2日

メ デ イ カ ル	MP-001~006	AMI / 微小循環 / ショック 座長：自治医科大学附属病院循環器センター内科	勝木 孝明
	MP-007~012	AMI-PCI 座長：大阪医科大学附属病院第三内科	鈴木 秀治
	MP-013~018	様々な検査法 座長：広島市立広島市民病院循環器科	井上 一郎
	MP-019~024	PCI長期予後 座長：静岡市立静岡病院循環器科	小野寺知哉
	MP-025~030	PCI合併症 座長：名古屋第一赤十字病院第一循環器	佐野 宏明
	MP-031~036	BMS再狭窄 座長：県西部浜松医療センター循環器科	高仲 知永
	MP-037~042	LMT-PCI 座長：大阪市立総合医療センター循環器内科	伊藤 彰
	MP-043~048	新手法 座長：福岡市医師会成人病センター循環器科	上野 高史
	MP-049~055	末梢インターベンション 座長：三木市立三木市民病院循環器科	栗野孝次郎
コ メ デ イ カ ル	CP-01~04	看護（患者教育） 座長：大垣市民病院看護部放射線科 コメンテーター：揖斐厚生病院内科	栗田 直美 大野 泰良
	CP-05~08	看護（業務改善） 座長：揖斐厚生病院看護部 コメンテーター：中津川市民病院循環器内科	森 咲子 河上 敬
	CP-09~14	放射線部門（1） 座長：名城病院放射線科 コメンテーター：名城病院循環器科	山田 誠一 岩間 芳生
	CP-15~21	臨床工学部門 座長：公立陶生病院臨床工学部 コメンテーター：大和成和病院循環器科	児玉 泰 青木 直人

一般演題ポスター発表

8月27日(土) 15:10 ~ 15:55 / 第3日

メ デ イ カ ル	MP-101 ~ 105	BMS成績(1) 座長：大村市立病院心臓血管病センター循環器科	園田 康男
	MP-106 ~ 110	BMS成績(2) 座長：藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院循環器科	横井 博厚
	MP-111 ~ 115	DES成績(1) 座長：横浜労災病院循環器科	加藤 健一
	MP-116 ~ 120	BMS成績、その他 座長：やすかわクリニック循環器科	安川 龍也
	MP-121 ~ 125	症例報告(困難症例) 座長：山形県立中央病院循環器科	荒木 隆夫
	MP-126 ~ 130	AMI-血栓 座長：愛心会葉山ハートセンター循環器科	雨宮 浩
	MP-131 ~ 135	DES適応と手技 座長：板橋中央総合病院循環器科	園田 信成
	MP-136 ~ 140	DES再狭窄 座長：福山循環器病院循環器科	竹林 秀雄
	MP-141 ~ 145	DES植込みテクニック 座長：三井記念病院循環器内科	青木 二郎
	MP-146 ~ 150	BMSからDES時代へ 座長：愛媛県立中央病院内科	風谷 幸男
	MP-151 ~ 155	DES成績(2) 座長：東海大学医学部内科学系循環器内科	森野 禎浩
コ メ デ イ カ ル	CP-51 ~ 54	看護(スタッフ教育) 座長：大垣市民病院看護部 コメンテーター：高山赤十字病院循環器科	古沢 雅子 堀部 永俊
	CP-55 ~ 58	看護・その他 座長：舞鶴共済病院看護部 コメンテーター：愛知県厚生連加茂病院循環器科	山口 千鶴 篠田 政典
	CP-59 ~ 63	放射線部門(2) 座長：静岡県立総合病院放射線部 コメンテーター：岐阜県立多治見病院循環器科	法橋 一生 加藤 公彦
	CP-64 ~ 67	放射線部門(3) 座長：岐阜県立多治見病院中央放射線部 コメンテーター：公立陶生病院循環器科	増田 豊 味岡 正純
	CP-68 ~ 72	臨床検査部門 座長：三重ハートセンター生理機能検査室 コメンテーター：春日井市民病院循環器科	内田 文也 寺沢 彰浩

市民公開講座

あなたの心臓をまもる - 治療の最前線 -

日時：平成17年8月25日（木）13:00～15:30

場所：第1会場（長良川国際会議場 メインホール）

座長：小笠原内科 院長 小笠原文雄
大垣市民病院循環器科 部長 坪井 英之

ご挨拶： 大垣市民病院循環器科 部長 曽根 孝仁

演者：心筋梗塞発症直後の危険な病態と迅速な治療
- 一般人による自動体外式除細動器と専門医による緊急再灌流治療 -
市立旭川病院内科 診療部長 平沢 邦彦

経皮的冠動脈形成術の品質保証

- JACCT認定医実技試験の試み -

北斗循環器病院 理事長・院長 阿部 秀樹

冠動脈疾患の再発防止

脂質・生活習慣病研究所 所長 中谷 矩章

共催：第5回日本心血管カテーテル治療学会学術集会
三共株式会社

後援：岐阜県医師会 岐阜市医師会 大垣市医師会 中日新聞社